「これ」があるから人生やめられない。
もっと楽しく豊かな心で。

わたしのビタミンC

スポーツや文化、趣味など。あなたの人生をより豊かにしている元気の素を紹介するコーナーです。

時がたつのを忘れて熱中。

遠山　芳美さん

とおやま・よしみさん（青葉町）
昭和21年　中国　天津生まれ
北海道職員 栄養職員 斜里町学校給食センター勤務
油絵クラブ茫彩（ぼうさい）会会長。

小学生のころから、絵を描くのが好きで中・高校生の時は水彩画を描いていました。

斜里には、昭和41年10月、学校給食が始まる時、給食センターで仕事に就く事になり、北見から来ました。

斜里に来て、山に連れて行ってくれる人がいて、その山の風景がとても美しく、油絵で描きたくなりました。昭和52年頃に油絵クラブ茫彩会があることを知り、会員となって習うようになりました。指導を受けたのは、今は亡き真鍋先生でした。

先生は「一つの絵を完成させるためには見えてる物でも省いて描くと見やすい作品になる。」とアドバイスしてくれました。学校では教えてくれないテクニックでした。

油絵は、気に入った色や形になるまで手直しが出来るところが魅力です。春先の木々や草花の萌える色彩、淡い色合いが好みです。

難しいところは、やっぱり、なかなか思い描く色が出せないところですね。今は、静物画や風景画を中心に描いていて、好きな画家は、「モネ」です。

絵を描くのは、仕事の関係もあり、ほとんど夜間です。いつしか、時間のたつのも忘れ、朝方の3時、4時頃になってしまうこともあります。

絵画は、自分で実際に見た感性で描き上げていくと、自分の心や個性が出ます。納得がいくまで、時間をかけます。でも、展示会などが締切間近になった時は、気持ちにゆとりがなくなり、大急ぎで仕上げることもありますね。

描いている最中は集中力が増していて、とても充実しています。

目標はいつまでも、自分の気持ちのままに描き続けていくことです。人に見せるためとかではなくて、生活の一部でありたいと思います。

誕生おめでとう

親

林　來楽（くら）さん　孝文さん　文光町　7/4
高畑　聖（ひじり）くん　幸直さん　文光町　7/10
加藤　司（つかさ）くん　啓さん　ウトロ中島　7/25
米山　七渚（ななと）ちゃん　大輝さん　文光町　7/26
蒲生　優斗（まさと）くん　忍さん　文光町　7/26
高桑　杏心（このみ）ちゃん　康太さん　新光町　7/26

結婚おめでとう

届出日です

Q　犬伏　洋人さん　青葉町　7/7
桑原　恵さん　紋別市

Q　熊田　直人さん　文光町　7/7
神田　裕子さん　文光町

おくやみ申上げます

神山　鉄次さん　78歳　朝日町　7/1
志村　正幸さん　54歳　美　咲　7/2
及川　政一さん　65歳　青葉町　7/2
星　博さん　57歳　以久科北　7/3
森　やゑさん　94歳　中斜里　7/15
新川　辰夫さん　74歳　新光町　7/19
松井金太郎さん　91歳　中斜里　7/22
屋根田キミヱさん　88歳　新光町　7/24
加藤　末治さん　91歳　青葉町　7/27
森野　義正さん　85歳　以久科北　7/31

ひと・まち イキイキ。

いまどきの若者

斜里産小麦100%『春よ恋』（強力粉）どうぞよろしく。

渡仲　正洋さん・朝日町
ＪＡ斜里町　営農部勤務

横浜市出身です。もともと北海道に興味があったのと水産や植物、動物などの勉強がしたくて、網走の東京農業大学に入学しました。卒業論文で、峰浜のシマトッカリ川の生態系について調査した時、山と海の絶妙なバランスのとれた町の雰囲気が気に入り、斜里町に就職を決めました。

４月に入ったばかりの新人なので、今はとにかく、先輩に迷惑が掛からないよう早く仕事を覚えたいです。

休日には愛車のスプリンターでドライブしたりしています。この前初めて中標津町に行って来ました（笑）。

一人暮らしということもありますが、料理は好きでよくします。今度は、この「春よ恋」を使ってピザを作ろうと思っています。以前、「春よ恋」を使ったパンと使わないパンを食べ比べてみたことがあるんですが、味が全然違うんです。深みがあるんです。これは、小麦の刈り倒しを行った後、２～３日程、天日乾燥を行い、その後刈り倒した小麦を大型コンバインで収穫するヘイバイン収穫方式によって実現した高品質の粉だからなんです。また、何と言っても、原料は地元斜里産、春まき小麦100％ですから、安心して食べていただけると思います。エーコープ斜里店で、１kg358円で販売しています。興味を持たれた方はぜひ、お求めいただきたいと思います。

み～んな斜里人

ずっとこの町に住んでいると
見えなくなるものがあるよね。
この町の魅力って、やっぱり
大自然、それとも・・・。
あなたが感じる
このまちの魅力を再発見したい。

落語家
柳家　一琴さん
東京都在住

待ってました！真打ち登場！

斜里町に初めて来たのは、平成６年、かみさんの両親にあいさつに訪れた時でした。

斜里に来る前は、何もない所かと思っていましたが、かみさんの実家は駅前で商店をやっていて、案外ひらけてるじゃないかと思いました。

一歩、商店街を抜けると海が広がり、ちょっと行くと山もあり、おいしい来運の水も汲めるし、住んでいる人もいい人が多いですね。特に、冬、雪と一緒に生活しているのを見て、「いいな。」と思い、斜里が好きになりました。

平成７年から斜里で落語の公演を毎年行っていて、真打ちになってからは、独り会でやっています。

今回は、７月16日に自動車を運転して東京を出発し、車の中で寝泊まりしながら、方々で落語会を行い、北海道に来ました。斜里で折り返し、また、東京へと戻ります。45日間の落語ツアーです。距離にして約８千キロの旅になります。

再来年は、後援会結成10周年と、はなし家生活の20周年となりますので、なにか大きな事をやりたいと考えていますので、皆さん、ぜひ落語会にお越しください。